

令和2年度 学校経営の方針

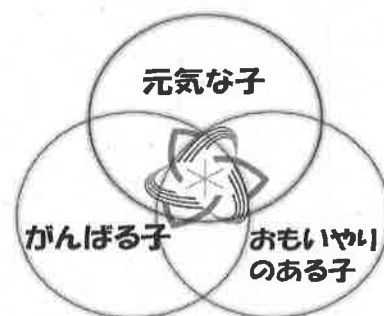
目指す学校像

地域とともに歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校

【 目指す子ども像 】

1 教育目標

児童生徒一人一人の生命及び人権を尊び、障害の特性や状態、発達段階に応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に追求して**自立と社会参加**を目指すとともに、**明るく豊かな心**をもった人間を育成する。



2 経営の基本方針

- (1) 自立と社会参加を目指し、地域で豊かに生きる力を育成する。
 - ・キャリア教育全体計画を根底に据えた小中高の一貫教育の実践
 - ・個々の児童生徒の教育的ニーズを踏まえた指導と保護者や関係機関との連携
- (2) 地域・学校との交流を積極的に行い、地域における障害者理解を推進する。
- (3) 同僚性の下で、教職員の協働により質の高い教育を創造する。
 - ・切磋琢磨し、特別支援教育の専門性を互いに高め合う教師集団
 - ・授業のねらいを明確にし、評価、改善を積み重ねる授業実践

3 重点事項

<本校>

- (1) 研究主題「児童生徒による学習評価の充実－各教科の授業づくりを通して－」の共通理解と、基礎となる教科の授業改善
 - ・教科における実態把握、適切な目標設定、学習評価に焦点をあてた研究の推進
 - ・授業アドバイザーの活用、授業研究会の実施方法の工夫
 - ・教育活動全体を通して行う自立活動に関する共通理解と時間における自立活動の授業改善
 - ・新学習指導要領に関する校内研修の充実
- (2) C・Sの効果的な実施による地域との一層の連携
 - ・居住地校交流、学校間交流の充実及びセンター的機能として障害理解授業の推進
 - ・熟議と作業部会を活用し、地域と連携した新たな取組（生涯学習の基盤づくり）の推進
 - ・本校の教育への理解を促進するための、地域への情報発信の工夫
- (3) 地域と連携した職業教育の充実
 - ・中学部段階からの職業教育の推進（キャリアパスポート作成）及び高等部1年生の就労体験の拡充
 - ・ハローワークと連携した事業所への障害理解推進（中央地区職業教育フェアの開催）
- (4) 寄宿舎の機能を生かし、高等部卒業後の生活を見据えた生活体験の実施

<分教室>

- (1) 児童生徒及び教職員の減少に応じた、本校と連携した教育活動の実施
- (2) 一人一人の児童生徒の教育的ニーズに応じた教育課程の編成と指導の充実
- (3) 授業づくり検討会による授業改善及び教材・教具研修会を活用した職員の専門性の向上と成果の発信